

海外科学技術政策に関する調査

Survey of Science and Technology Policy in Foreign Countries and International Organization

 **キーワード** 科学技術政策、研究開発、科学、技術、イノベーション、人材

1. 調査の目的

我が国の科学技術は既に世界有数の水準に達しているが、21世紀においても経済社会の基礎を築くために優れた科学技術の涵養に努めるとともに、世界の一員として科学技術分野においても積極的に国際貢献を進めることが必要である。

このためには基礎研究の本格的な強化、ビッグサイエンスの推進、エネルギー・地球環境等のグローバルな課題への対応、国際共同研究の主導的な展開、研究成果の公開や研究者の交流の拡大などに国を中心として一層取り組んでいかなばならない。

このような政策の立案、実施にあたっては、これまで以上に国際情勢、各国の具体的な事情等についての的確な情報を十分に把握することが不可欠であり、海外の科学政策に関する政策の動向を調査する活動を強化することが必要である。

このため平成2年6月に科学技術政策および重要な科学技術の分野の国家的事業に携わる特殊法人等が海外科学技術調査会を設立し、海外の科学技術動向に関する情報を総合的に収集、処理、分析することとなった。当研究所はこの活動の中心的な役割を果たし、海外の科学技術政策に関する情報誌の編集を担当してきた。

2. 調査の概要

前年度に引き続いて関係機関の委員からなる編集委員会を定期的を開催し「海外科学技術政策」誌の編集を行ってきた。編集にあたっては将来、公開する可能性があることも考慮して、本誌に翻訳掲載する資料を外国政府、国際機関等が発行する資料、報告書等に限定することとし、雑誌については紹介するだけに止める方針の下で編集を行ってきた。調査の対象とした情報の範囲は海外各国、地域および国際機関等の科学技術関連の情報を中心にして、原子力・新エネルギー、宇宙、海洋、地球環境、情報技術、バイオテクノロジー、材料技術等の重要な科学技術分野の動向、新しい研究領域、重要な発見・発明についての世界の動き等を取り上げることとした。また、対象としてきた国々、国際機関等は、アメリカ、イギリス、フランス、ドイツ、ロシア、OECD、EUをはじめ、東・中央諸国からアジア諸国にまで及んでいる。

平成14年度(第14巻1~12号)に掲載した各国政府等の報告書は15編であった。

平成 14 年度「海外科学技術政策」誌記事一覧

14巻1号 (通巻218号)	2号 (通巻219号)	3号 (通巻220号)	4号 (通巻221号)	5号 (通巻222号)	6号 (通巻223号)
イノベーション・クラスター：アメリカの競争力の地域的基盤 (アメリカ)	高度のスキルをもつ人材の国際的な移動 (OECD)	科学および工学の指標 2002(1) : 概観、第2章 科学および工学分野における高等教育 (アメリカ)	「2001年度わが国国民の科学素養調査主要データ」(概要) (中国)	科学および工学の指標 2002(3:最終回) : 第4章 アメリカおよび外国の研究開発 : 資金および提携 (アメリカ NSF)	イノベーションに対する投資 : 科学、工学および技術に関する戦略 (イギリス)
			科学および工学の指標 2002(2) : 第3章 科学および工学分野の労働力 (アメリカ)		

7号 (通巻 224号)	8号 (通巻 225号)	9号 (通巻 226号)	10号 (通巻 227号)	11号 (通巻 228号)	12号 (通巻 229号)
科学人材の雇用についての予測に基づく多年度の管理に関する10年計画 (フランス)	科学予算 2003-04 ~ 2005-06年度 (イギリス)	研究および技術開発の現状(2:最終回) (2003年度予算法案付属書) (フランス)	アメリカ連邦政府2004年度予算関係資料(研究開発関連) (アメリカ行政府/OSTP/AAAS)	科学、技術および産業の展望 2002(2:最終回) : 第5章、第8章、第9章、統計資料 (OECD)	教育、研究、イノベーション - 未来を具体化する (ドイツ)
科学技術指標 2002年版 : 主要な調査結果 (フランス)	研究および技術開発の現状(1) (2003年度予算法案付属書) (フランス)		科学、技術および産業の展望 2002(1) : サマリー、第1章、第3章、第4章 (OECD)		科学、技術およびイノベーション : 2002年の主要統計 (EU)